

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2016年11月10日

**【四半期会計期間】** 第20期第3四半期(自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)

**【会社名】** クックパッド株式会社

**【英訳名】** Cookpad Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表執行役 岩田 林平

**【本店の所在の場所】** 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号

**【電話番号】** 03-6368-1000

**【事務連絡者氏名】** 財務部本部長 犬飼 茂利男

**【最寄りの連絡場所】** 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号

**【電話番号】** 03-6368-1000

**【事務連絡者氏名】** 財務部本部長 犬飼 茂利男

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第3四半期連結 累計期間	第20期 第3四半期連結 累計期間	第19期
会計期間	自 2015年1月1日 至 2015年9月30日	自 2016年1月1日 至 2016年9月30日	自 2015年1月1日 至 2015年12月31日
売上収益 (第3四半期連結会計期間) (千円)	9,053,662 (3,567,390)	12,313,632 (4,101,981)	13,337,745
営業利益 (千円)	4,137,687	6,135,602	6,397,846
税引前四半期利益又は税引前利益 (千円)	4,058,116	6,137,907	6,510,565
四半期(当期)利益 (千円)	2,471,945	3,792,552	4,107,364
親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)利益 (第3四半期連結会計期間) (千円)	2,478,422 (637,374)	3,711,788 (1,417,347)	4,090,647
四半期(当期)包括利益 (千円)	2,340,213	3,149,455	3,995,852
親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)包括利益 (千円)	2,346,710	3,068,692	3,979,135
資本合計 (千円)	21,745,215	25,652,660	23,396,140
資産合計 (千円)	25,237,889	28,368,425	27,494,429
基本的1株当たり四半期(当期)利益 (第3四半期連結会計期間) (円)	23.20 (5.96)	34.65 (13.22)	38.29
希薄化後1株当たり 四半期(当期)利益 (円)	22.75	34.28	37.53
親会社の所有者に帰属する持分合計 (千円)	19,501,477	23,239,317	21,078,279
親会社所有者帰属持分比率 (%)	77.3	81.9	76.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	2,783,740	3,290,612	4,469,487
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	3,924,587	550,105	4,026,538
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	595,278	1,147,940	662,812
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	11,489,145	15,370,056	13,048,498

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上収益には、消費税等は含まれていません。

3. 上記指標はIFRSにより作成された要約四半期連結財務諸表及び連結財務諸表に基づいています。

4. 2015年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期(当期)利益及び希薄化後1株当たり四半期(当期)利益を算定しています。

5. 2016年9月に、連結子会社であるセレクトチャー株式会社の株式を全て売却し、同社を連結の範囲から除外しています。これに伴い、当社グループは「EC事業」を終了したため、同事業を非継続事業に分類しています。そのため、売上収益、営業利益及び税引前四半期利益又は税引前利益については、継続事業の金額を表示しています。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、以下を除き、重要な変更はありません。

<EC事業>

当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であるセレクトチャー株式会社の株式を全て売却し、同社を連結の範囲から除外しています。これに伴い、報告セグメント内の「EC事業」を終了しています。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度末の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において当社が判断したものです。

#### (1) 業績の状況

##### 経営成績の概況

2016年12月期第3四半期連結累計期間（2016年1月1日～2016年9月30日）の業績は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2015年12月期 第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)	2016年12月期 第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)	前年同期比
売上収益（継続事業）	9,053	12,313	+36.0%
営業利益（継続事業）	4,137	6,135	+48.3%
税引前四半期利益（継続事業）	4,058	6,137	+51.3%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益（全事業）	2,478	3,711	+49.8%

当社グループは、「毎日の料理を楽しむにする」を企業理念として、レシピサービス「クックパッド」を国内及び海外で展開しています。国内における「クックパッド」の月次利用者数（1ヶ月の間の訪問者をブラウザベースまたは端末ベースにより集計）は、2016年9月末時点で6,010万人（前年同月比7.8%増）となりました。当サービスは日常生活の生活導線上で利用されているため、日常生活の多様なシーンでインターネットの利用が可能なスマートフォンとの相性が非常に良く、特にスマートフォンからの利用者（タブレットからのアプリの利用者数を含む）が順調に増加し、4,615万人（前年同月比16.9%増）となりました。今後も多様化するデバイス及びそれに付随した新機能に適應したサービスの展開に注力していきます。また、レシピ数も堅調に増加しており、2016年9月末には累計投稿レシピ数が251万品を超えました。

海外においては、2014年4月期からレシピサービスの世界展開を開始、主に英語圏、スペイン語圏、インドネシア語圏及びアラビア語圏の地域を中心としており、これらの地域での月次利用者数は2,929万人（前年同月比74.1%増）となりました。言語別のサービスの月次利用者数は、英語圏が109万人（前年同月比48.7%増）、スペイン語圏が1,485万人（前年同月比93.0%増）、インドネシア語圏が865万人（前年同月比111.6%増）、アラビア語圏が467万人（前年同月比8.9%増）となっています。今後も日本を含めたグローバルでのサービス開発を進めて利用者の拡大を推進し、レシピサービスの世界展開をさらに加速させていきます。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における継続事業からの売上収益は12,313百万円（前年同期比36.0%増）となりました。これは主に会員事業及び広告事業の売上が順調に伸びたこと、2015年12月期第3四半期連結会計期間より「株式会社みんなのウェディング」を連結子会社化したこと等により売上収益が増加したものです。継続事業からの販売費及び一般管理費は5,580百万円（前年同期比23.4%増）となり、当第3四半期連結累計期間における継続事業からの営業利益は6,135百万円（前年同期比48.3%増）、非継続事業も含めた親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,711百万円（前年同期比49.8%増）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であるセレクトチャー株式会社の全株式を売却し、同社を連結の範囲から除外しています。これに伴い、当社グループは「EC事業」を終了したため、同事業を非継続事業に分類し、売上収益、営業利益及び税引前四半期利益の金額は「EC事業」を除く継続事業のみの金額に組み替えて表示しています。また比較年度の連結経営成績についても修正再表示しています。

セグメントの業績

セグメントの業績は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

事業別売上収益		2015年12月期 第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)	2016年12月期 第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)	前年同期比
インターネット・メディア事業		8,996	12,148	+35.0%
レシ ピ サ ー ビ ス 事 業	会員事業	4,723	6,487	+37.3%
	広告事業	3,100	3,598	+16.1%
	買物情報事業	157	246	+56.8%
	その他	108	76	29.3%
その他インターネット・メディア事業		905	1,738	+91.9%
その他事業		57	165	+188.0%
合計		9,053	12,313	+36.0%

イ. インターネット・メディア事業

当第3四半期連結累計期間のインターネット・メディア事業の売上収益は12,148百万円（前年同期比35.0%増）、セグメント利益は6,214百万円（前年同期比49.9%増）となりました。

（レシピサービス事業）

国内及び海外で展開している「クックパッド」のレシピサービスの会員事業、広告事業及び買物情報事業等の売上収益が含まれています。

当第3四半期連結累計期間における会員事業の売上収益は6,487百万円（前年同期比37.3%増）となりました。プレミアム会員数が引き続き堅調に推移したこと及び株式会社NTTドコモが運営する「dグルメ®」等のレベニューシェアを含む通信キャリアからの売上収益が順調に増加したことによります。

当第3四半期連結累計期間における広告事業の売上収益は3,598百万円（前年同期比16.1%増）となりました。タイアップ広告とディスプレイ広告を合わせたリッチメディア広告を中心に売上収益が順調に増加しました。

当第3四半期連結累計期間における買物情報事業の売上収益は246百万円（前年同期比56.8%増）となりました。2015年3月より「特売情報」の小売店向け有料サービスの提供を開始しており、2016年9月末時点において、有料サービス利用店舗数は約6,200店舗となり、順調に増加しています。

（その他インターネット・メディア事業）

2015年12月期第3四半期連結会計期間より「株式会社みんなのウェディング」を連結子会社化したこと等により、売上収益は1,738百万円（前年同期比91.9%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ873百万円増加し、28,368百万円となりました。このうち、流動資産は同2,641百万円増加し、19,351百万円となり、非流動資産は同1,767百万円減少し、9,017百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、流動資産については、現金及び現金同等物が2,321百万円増加したこと及び営業債権及びその他の債権が483百万円増加したことによるものであり、非流動資産については、為替の影響及び子会社株式の売却に伴いのれんが996百万円減少したこと及びその他の金融資産が556百万円減少したことによるものです。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ1,382百万円減少し、2,715百万円となりました。このうち、流動負債は同1,303百万円減少し、2,419百万円となり、非流動負債は同79百万円減少し、295百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、流動負債については、営業債務及びその他の債務が457百万円減少したこと及び未払法人所得税等が737百万円減少したことによるものです。

### (資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本は、前連結会計年度末に比べ2,256百万円増加し、25,652百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が2,649百万円増加したこと及び為替換算調整勘定等のその他の資本の構成要素が683百万円減少したことによるものです。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度残高より2,321百万円増加し、15,370百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、3,290百万円となりました。この主な要因は、非継続事業を含む税引前四半期利益6,153百万円を計上した一方で、法人所得税等の支払額3,115百万円が生じたことによるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は、550百万円となりました。この主な要因は、投資の売却による収入869百万円及び投資の取得による支出386百万円が生じたことによるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、1,147百万円となりました。この主な要因は、配当による支払い1,069百万円が生じたことによるものです。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	331,776,000
計	331,776,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (2016年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2016年11月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	107,157,600	107,157,600	東京証券取引所 市場第一部	完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式です。 また、1単元の株式数は100株となっています。
計	107,157,600	107,157,600		

(注) 「提出日現在発行数」欄には、2016年11月1日から当四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれていません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2016年7月1日～ 2016年9月30日	12,000	107,157,600	2,261	5,267,483	2,261	5,266,908

(注) 新株予約権の行使による増加です。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2016年6月30日)に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

2016年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 107,123,100	1,071,231	権利内容に限定のない標準となる株式
単元未満株式	普通株式 18,600		
発行済株式総数	107,145,600		
総株主の議決権		1,071,231	

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が56株含まれています。

【自己株式等】

2016年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
クックパッド株式会社	東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号	3,900		3,900	0.00
計		3,900		3,900	0.00

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の変動はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1. 要約四半期連結財務諸表の作成方法について

当社は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に定める「特定会社」の要件を満たすことから、同第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」(以下「IAS第34号」という。)に準拠して要約四半期連結財務諸表を作成しています。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2016年7月1日から2016年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2016年1月1日から2016年9月30日まで)に係る要約四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けています。

## 1 【要約四半期連結財務諸表】

## (1) 【要約四半期連結財政状態計算書】

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	8	13,048,498	15,370,056
営業債権及びその他の債権	8	3,237,167	3,720,383
その他の金融資産	8	7,527	4,721
棚卸資産		265,303	66,584
その他の流動資産		151,348	189,511
流動資産合計		16,709,842	19,351,254
非流動資産			
有形固定資産		552,484	499,562
のれん		7,231,099	6,234,317
無形資産		329,401	216,198
持分法で会計処理されている投資		99,911	-
その他の金融資産	8	1,980,168	1,423,945
繰延税金資産		583,781	623,789
その他の非流動資産		7,742	19,360
非流動資産合計		10,784,586	9,017,171
資産合計		27,494,429	28,368,425

(単位：千円)

	注記	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
<b>負債及び資本</b>			
<b>負債</b>			
流動負債			
借入金	8	118,090	62,025
営業債務及びその他の債務	8	1,246,531	789,455
その他の金融負債	8	44,762	35,085
未払法人所得税等		1,837,122	1,099,177
その他の流動負債		476,440	434,171
流動負債合計		3,722,943	2,419,912
非流動負債			
借入金	8	130,426	57,259
その他の金融負債	8	43,072	36,112
引当金		201,366	202,386
繰延税金負債		482	96
非流動負債合計		375,346	295,852
負債合計		4,098,289	2,715,765
<b>資本</b>			
資本金		5,230,172	5,267,483
資本剰余金		5,106,560	5,264,100
利益剰余金		10,597,299	13,246,559
自己株式		2,006	2,006
その他の資本の構成要素		146,254	536,820
親会社の所有者に帰属する持分合計		21,078,279	23,239,317
非支配持分		2,317,861	2,413,343
資本合計		23,396,140	25,652,660
負債及び資本合計		27,494,429	28,368,425

(2)【要約四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)
<b>継続事業</b>		
売上収益	9,053,662	12,313,632
売上原価	407,091	600,539
売上総利益	8,646,571	11,713,092
販売費及び一般管理費	4,521,618	5,580,157
その他の収益	16,738	49,592
その他の費用	4,004	46,925
営業利益	4,137,687	6,135,602
金融収益	33,976	530,932
金融費用	107,896	527,094
持分法による投資損益(は損失)	5,651	1,533
税引前四半期利益	4,058,116	6,137,907
法人所得税費用	1,626,338	2,353,119
継続事業からの四半期利益	2,431,778	3,784,788
<b>非継続事業</b>		
非継続事業からの四半期利益	40,167	7,764
四半期利益	2,471,945	3,792,552
<b>四半期利益の帰属</b>		
親会社の所有者	2,478,442	3,711,788
非支配持分	6,497	80,763
四半期利益	2,471,945	3,792,552
<b>1株当たり四半期利益</b>		
基本的1株当たり四半期利益(円)	9	
継続事業	22.83	34.58
非継続事業	0.37	0.07
基本的1株当たり四半期利益合計	23.20	34.65
<b>希薄化後1株当たり四半期利益(円)</b>		
継続事業	22.39	34.21
非継続事業	0.36	0.07
希薄化後1株当たり四半期利益合計	22.75	34.28

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)
<b>継続事業</b>			
売上収益		3,567,390	4,101,981
売上原価		225,362	209,732
売上総利益		3,342,027	3,892,250
販売費及び一般管理費		1,774,828	1,891,033
その他の収益		5,041	33,715
その他の費用		236	1,236
営業利益		1,572,004	2,033,696
金融収益		2,840	466,661
金融費用		482,312	133,057
持分法による投資損益(は損失)		4,144	-
税引前四半期利益		1,088,389	2,367,300
法人所得税費用		449,402	918,853
継続事業からの四半期利益		638,987	1,448,447
<b>非継続事業</b>			
非継続事業からの四半期利益(は損失)		8,104	5,940
四半期利益		647,091	1,442,507
<b>四半期利益の帰属</b>			
親会社の所有者		637,374	1,417,347
非支配持分		9,717	25,160
四半期利益		647,091	1,442,507
1株当たり四半期利益	9		
基本的1株当たり四半期利益(損失)(円)			
継続事業		5.89	13.28
非継続事業		0.07	0.05
基本的1株当たり四半期利益合計		5.96	13.22
希薄化後1株当たり四半期利益(損失)(円)			
継続事業		5.77	13.23
非継続事業		0.07	0.05
希薄化後1株当たり四半期利益合計		5.84	13.17

(3)【要約四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)
四半期利益	2,471,945	3,792,552
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融商品の公正価値の純変動	-	6,500
純損益に振り替えられることのない 項目合計	-	6,500
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	131,732	649,596
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	131,732	649,596
税引後その他の包括利益	131,732	643,096
四半期包括利益	<u>2,340,213</u>	<u>3,149,455</u>
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,346,710	3,068,692
非支配持分	6,497	80,763
四半期包括利益	<u>2,340,213</u>	<u>3,149,455</u>

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結会計期間 (自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)
四半期利益	647,091	1,442,507
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融商品の公正価値の純変動	-	6,500
純損益に振り替えられることのない 項目合計	-	6,500
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	91,896	43,395
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	91,896	43,395
税引後その他の包括利益	91,896	36,895
四半期包括利益	555,195	1,405,612
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	545,478	1,380,452
非支配持分	9,717	25,160
四半期包括利益	555,195	1,405,612

(4)【要約四半期連結持分変動計算書】

前第3四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)

(単位：千円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
		資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計		
2015年1月1日時点の 残高		5,205,096	5,174,677	6,933,775	1,186	248,653	17,561,015	70,533	17,631,548
四半期利益		-	-	2,478,442	-	-	2,478,442	6,497	2,471,945
その他の包括利益		-	-	-	-	131,732	131,732	-	131,732
四半期包括利益合計		-	-	2,478,442	-	131,732	2,346,710	6,497	2,340,213
新株の発行		18,627	18,627	-	-	-	37,254	-	37,254
株式報酬取引		-	2,376	-	-	88	2,288	-	2,288
配当金	7	-	-	427,123	-	-	427,123	-	427,123
自己株式の取得		-	-	-	821	-	821	-	821
企業結合による変動		-	41,505	-	-	23,659	17,846	2,219,212	2,201,366
支配の喪失とならな い子会社に対する所 有者持分の変動		-	-	-	-	-	-	39,510	39,510
所有者との取引額合計		18,627	20,502	427,123	821	23,571	406,248	2,179,702	1,773,454
2015年9月30日時点の 残高		5,223,723	5,154,175	8,985,094	2,007	140,492	19,501,477	2,243,738	21,745,215



当第3四半期連結累計期間(自2016年1月1日至2016年9月30日)

(単位:千円)

	注記	親会社の所有者に帰属する持分					親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
		資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2016年1月1日時点の残高		5,230,172	5,106,560	10,597,299	2,006	146,254	21,078,279	2,317,861	23,396,140
四半期利益		-	-	3,711,788	-	-	3,711,788	80,763	3,792,552
その他の包括利益		-	-	-	-	643,096	643,096	-	643,096
四半期包括利益合計		-	-	3,711,788	-	643,096	3,068,692	80,763	3,149,455
新株の発行		37,311	37,311	-	-	-	74,622	-	74,622
株式報酬取引		-	5,331	-	-	33,477	38,808	-	38,808
配当金	7	-	-	1,069,028	-	-	1,069,028	-	1,069,028
支配の喪失とならない子会社に対する所有者持分の変動		-	21,988	-	-	-	21,988	13,773	8,215
支配喪失による変動		-	147,548	-	-	-	147,548	947	148,495
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		-	-	6,500	-	6,500	-	-	-
所有者との取引額合計		37,311	157,541	1,062,528	-	39,977	907,654	14,719	892,935
2016年9月30日時点の残高		5,267,483	5,264,100	13,246,559	2,006	536,820	23,239,317	2,413,343	25,652,660

## (5)【要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	4,058,116	6,137,907
非継続事業からの税引前四半期利益	66,816	15,830
減価償却費及び償却費	133,228	198,816
金融収益及び金融費用（は益）	108,189	86,279
その他の収益	11,713	-
持分法による投資損益（は益）	5,651	1,533
営業債権及びその他の債権の増減額 （は増加）	103,366	416,187
営業債務及びその他の債務の増減額 （は減少）	120,462	233,959
その他	76,885	49,332
小計	4,213,344	6,400,703
利息及び配当金の受取額	6,234	7,951
利息の支払額	2,410	2,149
法人所得税等の支払額	1,433,428	3,115,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,783,740	3,290,612
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	65,569	63,463
有形固定資産の売却による収入	-	66
無形資産の取得による支出	45,255	92,366
投資の取得による支出	1,019,696	386,017
投資の売却による収入	4,157	869,735
子会社の取得による支出	2,767,537	-
子会社の売却による収入	-	187,675
関連会社株式の取得による支出	30,000	-
関連会社株式の売却による収入	-	105,500
その他	687	71,026
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,924,587	550,105

(単位：千円)

注記	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)	(自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	10,000	10,000
長期借入金の返済による支出	105,041	92,670
新株の発行による収入	28,835	58,466
新株予約権の買戻による支出	-	36,866
支払配当金	7 427,123	1,069,028
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	150,000	27,552
非支配株主からの払込みによる収入	68,978	13,500
その他	927	3,790
財務活動によるキャッシュ・フロー	595,278	1,147,940
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,736,125	2,692,777
現金及び現金同等物の期首残高	13,327,038	13,048,498
現金及び現金同等物の為替変動による影響	71,511	371,218
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	30,257	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,489,145	15,370,056

## 【要約四半期連結財務諸表注記】

### 1. 報告企業

クックパッド株式会社（以下、当社）は日本に所在する企業です。2016年9月30日に終了した9ヶ月間の当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社（以下、当社グループ）並びに関連会社に対する当社グループの持分により構成されています。

当社グループは、「毎日の料理を楽しむにする」を企業理念とし、インターネット上で料理レシピの投稿・検索等が可能な「クックパッド」を中心に事業展開しています。

### 2. 作成の基礎

#### (1) IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）第1条の2に定める要件を満たしており、特定会社に該当しますので、同第93条の規定により、IAS第34号「期中財務報告」に準拠して作成しています。

なお、要約四半期連結財務諸表は、年度の連結財務諸表で要求されている全ての情報を含んでいないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

本要約四半期連結財務諸表は、2016年11月9日に取締役会によって承認されています。

#### (2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている特定の金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しています。

#### (3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を四捨五入して表示しています。

### 3. 重要な会計方針

本要約四半期連結財務諸表の作成に適用した重要な会計方針は、他の記載がない限り、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税は、見積平均年次実効税率を用いて算定しています。

### 4. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられています。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直します。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りを変更した会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識します。

経営者が行った要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前連結会計年度の連結財務諸表と同様です。

## 5. セグメント情報

### (1) 報告セグメントの概要

報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。事業セグメントは、他の事業セグメントとの取引を含む、収益を稼得し費用を発生させる事業活動の構成単位です。

当社グループは、商品・サービス別の事業部及び子会社を置き、各事業部及び子会社は、取り扱う商品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社グループは、事業部及び子会社を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「インターネット・メディア事業」を報告セグメントとしています。

「インターネット・メディア事業」は、料理レシピの投稿・検索サイト「クックパッド」を中心に、レシピサービス等を展開しています。

「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産婦人科を通じた妊産婦・乳幼児向けサービス等を展開しています。

なお、当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であるセレクトチャー株式会社の全株式を売却し、同社を連結の範囲から除外しています。これに伴い、当社グループは「EC事業」を終了したため、同事業を非継続事業に分類し、セグメント情報から除いています。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいています。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント インターネット・ メディア事業	その他事業	合計	調整額	連結
売上収益					
外部顧客からの売上収益	8,996,320	57,342	9,053,662		9,053,662
セグメント間の売上収益					
計	8,996,320	57,342	9,053,662		9,053,662
セグメント利益又は損失(注)	4,146,057	21,103	4,124,953		4,124,953
その他の収益・費用(純額)					12,734
営業利益					4,137,687
金融収益・費用(純額)					73,921
持分法による投資損益					5,651
税引前四半期利益					4,058,116

(注) セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しています。

当第3四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント インターネット・ メディア事業	その他事業	合計	調整額	連結
売上収益					
外部顧客からの売上収益	12,148,459	165,173	12,313,632		12,313,632
セグメント間の売上収益					
計	12,148,459	165,173	12,313,632		12,313,632
セグメント利益又は損失(注)	6,214,181	81,245	6,132,935		6,132,935
その他の収益・費用(純額)					2,667
営業利益					6,135,602
金融収益・費用(純額)					3,838
持分法による投資損益					1,533
税引前四半期利益					6,137,907

(注) セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しています。

前第3四半期連結会計期間(自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント インターネット・ メディア事業	その他事業	合計	調整額	連結
売上収益					
外部顧客からの売上収益	3,510,047	57,342	3,567,390		3,567,390
セグメント間の売上収益					
計	3,510,047	57,342	3,567,390		3,567,390
セグメント利益又は損失(注)	1,588,303	21,103	1,567,199		1,567,199
その他の収益・費用(純額)					4,805
営業利益					1,572,004
金融収益・費用(純額)					479,472
持分法による投資損益					4,144
税引前四半期利益					1,088,389

(注) セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しています。

当第3四半期連結会計期間(自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント インターネット・ メディア事業	その他事業	合計	調整額	連結
売上収益					
外部顧客からの売上収益	4,041,844	60,137	4,101,981		4,101,981
セグメント間の売上収益					
計	4,041,844	60,137	4,101,981		4,101,981
セグメント利益又は損失(注)	2,027,165	25,949	2,001,216		2,001,216
その他の収益・費用(純額)					32,480
営業利益					2,033,696
金融収益・費用(純額)					333,604
持分法による投資損益					
税引前四半期利益					2,367,300

(注) セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しています。

6. 企業結合

該当事項はありません。

7. 配当金

前第3四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)

決議日	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
	千円	円		
2015年2月6日 取締役会	427,123	12.00	2014年12月31日	2015年3月27日

当第3四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)

決議日	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
	千円	円		
2016年2月5日 取締役会	1,069,028	10.00	2015年12月31日	2016年3月25日



## 8. 金融商品の公正価値

金融商品の帳簿価額と公正価値は以下のとおりです。

	前連結会計年度 (2015年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (2016年9月30日)	
	帳簿価額	公正価値	帳簿価額	公正価値
	千円	千円	千円	千円
<b>資産：</b>				
現金及び現金同等物	13,048,498	13,048,498	15,370,056	15,370,056
<b>償却原価で測定される金融資産</b>				
営業債権及びその他の債権	3,237,167	3,237,167	3,720,383	3,720,383
その他の金融資産	343,465	342,834	331,040	335,575
<b>純損益を通じて公正価値で測定する金融資産</b>				
その他の金融資産	1,402,442	1,402,442	833,846	833,846
<b>その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産</b>				
その他の金融資産	241,789	241,789	263,780	263,780
合計	18,273,360	18,272,730	20,519,105	20,523,640
<b>負債：</b>				
<b>償却原価で測定される金融負債</b>				
借入金	248,516	251,228	119,284	120,862
営業債務及びその他の債務	1,246,531	1,246,536	789,455	789,455
その他の金融負債	44,762	44,762	35,085	35,085
<b>純損益を通じて公正価値で測定する金融負債</b>				
その他の金融負債	43,072	43,072	36,112	36,112
合計	1,582,881	1,585,598	976,936	981,514

### 現金及び現金同等物

満期までの期間が短期であるため、帳簿価額は公正価値に近似しています。

### 営業債権及びその他の債権、営業債務及びその他の債務

当該債権債務の公正価値は、主として短期間で決済又は納付される金融商品であるため帳簿価額と公正価値がほぼ同額です。

### 純損益を通じて公正価値で測定する金融資産

純損益を通じて公正価値で測定する金融資産のうち、非上場株式の公正価値については合理的な方法により算定しています。

### その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産

その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産のうち、非上場株式の公正価値については合理的な方法により算定しています。

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債については合理的な方法により算定しています。

借入金

借入金の公正価値は、一定の期間ごとに区分し、債務額を満期までの期間及び信用リスクを加味した利率により割り引いた現在価値により算定しています。

公正価値で測定される金融商品について、測定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じた公正価値測定額を、レベル1からレベル3まで分類しています

レベル1：活発な市場における同一の資産又は負債の市場価格

レベル2：レベル1以外の、観察可能な価格を直接又は間接的に使用して算出された公正価値

レベル3：観察不能なインプットを含む評価技法から算出された公正価値

公正価値のヒエラルキーのレベル間の振替は、各四半期の期首時点で発生したものと認識しています。

前連結会計年度（2015年12月31日）

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
	千円	千円	千円	千円
資産：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	1,234,296	-	168,145	1,402,442
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	560	-	241,229	241,789
合計	1,234,856	-	409,374	1,644,230
負債：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	-	43,072	43,072
合計	-	-	43,072	43,072

当第3四半期連結会計期間（2016年9月30日）

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
	千円	千円	千円	千円
資産：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	521,640	-	312,206	833,846
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	560	-	263,220	263,780
合計	522,200	-	575,426	1,097,626
負債：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	-	36,112	36,112
合計	-	-	36,112	36,112

レベル3に分類された金融商品の変動は、以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)

	決算日時点での公正価値測定		
	純損益を通じて 公正価値で測定する 金融資産	その他の包括利益を 通じて公正価値で 測定する金融資産	純損益を通じて 公正価値で測定する 金融負債
	千円	千円	千円
期首残高	315,978	9,988	602,750
利得及び損失合計	1,542	-	-
損益(注1)	1,542	-	-
購入	10	1,300	-
条件付対価の認識(注2)	-	-	59,125
その他	11,000	(注3) 229,941	19,235
期末残高	306,530	241,229	642,640

(注1) 損益に含まれている利得及び損失は、決算日時点の純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関するものです。これらの利得及び損失は、要約四半期連結損益計算書の「金融収益」及び「金融費用」に含まれています。

(注2) 企業結合にあたり被取得企業の株式を取得した際、対価の一部を条件付対価としたことにより認識した債務です。

(注3) 当社が株式会社みんなのウェディングを子会社化したことによる増加です。

当第3四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)

	決算日時点での公正価値測定		
	純損益を通じて 公正価値で測定する 金融資産	その他の包括利益を 通じて公正価値で 測定する金融資産	純損益を通じて 公正価値で測定する 金融負債
	千円	千円	千円
期首残高	168,145	241,229	43,072
利得及び損失合計	37,055	6,500	-
損益(注1)	37,055	-	-
その他の包括利益(注2)	-	6,500	-
購入	312,196	54,491	-
売却	205,190	39,000	-
その他	-	-	6,960
期末残高	312,206	263,220	36,112

(注1) 損益に含まれている利得及び損失は、決算日時点の純損益を通じて公正価値で測定する金融資産に関するものです。これらの利得及び損失は、要約四半期連結損益計算書の「金融収益」及び「金融費用」に含まれています。

(注2) その他の包括利益に認識した利得又は損失は、要約四半期連結包括利益計算書の「その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産」に含まれています。

レベル3に分類されている金融商品は、主に市場価格が入手できない非上場会社の発行する普通株式への出資及び企業結合に伴い認識した条件付対価により構成されています。公正価値を算定する際は、主にインプットを合理的に見積り、適切な評価方法を決定しています。

当該金融商品に係る公正価値の測定は四半期ごとにグループ会計方針に準拠して行われ、上位者に報告され、承認を受けています。

なお、レベル3に分類された金融商品について、観察可能でないインプットを合理的に考え得る代替的な仮定に変更した場合に重要な公正価値の変動は見込まれていません。

9. 1 株当たり利益

基本的 1 株当たり四半期利益及び希薄化後 1 株当たり四半期利益は以下のとおりです。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2015年 1月 1日 至 2015年 9月 30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2016年 1月 1日 至 2016年 9月 30日)
親会社の所有者に帰属する継続事業からの 四半期利益(千円)	2,438,276	3,704,025
親会社の所有者に帰属する非継続事業から の四半期利益(千円)	40,167	7,764
四半期利益調整額		
新株予約権(千円)	-	-
希薄化後 1 株当たり四半期利益の計算に 使用する四半期利益(千円)	2,478,442	3,711,788
期中平均普通株式数(株)	106,797,557	107,092,842
普通株式増加数		
新株予約権(株)	2,100,912	1,163,289
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	108,898,469	108,256,131
基本的 1 株当たり四半期利益(円)		
継続事業	22.83	34.58
非継続事業	0.37	0.07
基本的 1 株当たり四半期利益合計	23.20	34.65
希薄化後 1 株当たり四半期利益(円)		
継続事業	22.39	34.21
非継続事業	0.36	0.07
希薄化後 1 株当たり四半期利益合計	22.75	34.28

(注) 2015年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的 1 株当たり四半期利益及び希薄化後 1 株当たり四半期利益を算定しています。

	前第3四半期連結会計期間 (自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)
親会社の所有者に帰属する継続事業からの 四半期利益(千円)	629,271	1,423,287
親会社の所有者に帰属する非継続事業から の四半期利益(千円)	8,104	5,940
四半期利益調整額		
新株予約権(千円)	-	-
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用 する四半期利益(千円)	637,374	1,417,347
期中平均普通株式数(株)	106,813,888	107,151,035
普通株式増加数		
新株予約権(株)	2,226,021	412,686
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	109,039,909	107,563,721
基本的1株当たり四半期利益(損失)(円)		
継続事業	5.89	13.28
非継続事業	0.07	0.05
基本的1株当たり四半期利益合計	5.96	13.22
希薄化後1株当たり四半期利益(損失)(円)		
継続事業	5.77	13.23
非継続事業	0.07	0.05
希薄化後1株当たり四半期利益合計	5.84	13.17

(注)2015年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しています。

## 10. 非継続事業

当社グループは、当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であるセレクチュアー株式会社の全株式を売却し、同社を連結の範囲から除外しています。これに伴い、当社グループは「EC事業」を終了したため、同事業を非継続事業に分類しています。

## (1) 報告セグメント

EC事業

## (2) 非継続事業の業績

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)
非継続事業の損益		
収益	954,466	938,762
費用	887,650	922,932
非継続事業からの税引前四半期利益	66,816	15,830
法人所得税費用	26,649	8,066
非継続事業からの四半期利益	40,167	7,764

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)
非継続事業の損益		
収益	264,445	237,465
費用	250,992	246,747
非継続事業からの税引前四半期利益(は損失)	13,453	9,282
法人所得税費用	5,350	3,342
非継続事業からの四半期利益(は損失)	8,104	5,940

## (3) 非継続事業からのキャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)
非継続事業からのキャッシュ・フロー		
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,847	8,684
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,299	5,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,000	-
合計	10,548	14,035

## 11. 後発事象

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2016年11月10日

クックパッド株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 栗栖 孝彰 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 坂井 知倫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクックパッド株式会社の2016年1月1日から2016年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2016年7月1日から2016年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2016年1月1日から2016年9月30日まで）に係る要約四半期連結財務諸表、すなわち、要約四半期連結財政状態計算書、要約四半期連結損益計算書、要約四半期連結包括利益計算書、要約四半期連結持分変動計算書、要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 要約四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第93条の規定により国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない要約四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から要約四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の要約四半期連結財務諸表が、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して、クックパッド株式会社及び連結子会社の2016年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。